

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-1	19	市営住宅の管理	さわやかな空気と静けさを確保する	安全で健康に暮らせるまち	苦情件数の削減の推進及び早急な対応	苦情件数の削減の推進 3件以内		苦情内容が建物に係ること等のため、環境とは係わりがないと担当で判断したため削除。	丸子市民生活課(削除)
1-1	31	移動図書館車の運行	地球資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行(丸子・武石地域、年間約156日運行)	貸出冊数 21,000 冊	◎	4月～8月まで移動図書館車の運行(丸子・武石地域、49日)貸出冊数 8,236冊	丸子図書館

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-2	10	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	○	上半期補助申請 1件(目標の25%)	丸子市民生活課
1-2	25	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.3%	◎	申請件数141件 使用開始件数119件 目標は達成したが、さらに普及を進める。	丸子上下水道課
1-2	26	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	△	漏水調査の委託は現在準備中 漏水修理は随時行っているが、8月現在有収率はあがっていない状況。	丸子上下水道課
1-2	42	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と環境保全を確保	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○処理場の整備 ①管平浄化センター改築更新 ②農集処理場の維持管理	○処理場の整備 ①管平浄化センター調整槽設備、沈砂池設備更新工事	◎	管平浄化センター工事について、H23からの繰越工事分について7月26日に完成。 H24工事分は、40%の工事が完成。	真田上下水道課
1-2	43	老朽管布設替	水資源の有効活用	有収率の向上	老朽管布設替	推定漏水量	○	市道小島線送水管布設替工事 発注済 市道三日城線配水管布設替工事 設計中	真田上下水道課
1-2	51	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設1基	◎	補助金交付件数 2件	武石市民生活課
1-2	52	河川水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視する	市内河川の調査地点について、河川の状態を把握するため水質調査を実施する。 余里自治会からの要望による河川水質調査の実施	市内4地点で実施 指定箇所1地点で実施	◎	・武石地区旧廃棄物処分場(毎月実施:検査結果は基準値内である) ・余里地区水質検査(10月実施予定)	武石市民生活課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-2	62	排水設備の普及促進	水質の保全	下水道の早期接続	未接続者全戸へ電話での早期接続案内の実施 パンフレットの送付	未接続への電話度に集計	○	パンフレットの送付ができなかった。	武石上下水道課
1-2	63	有収率の向上	安定安全な水の供給	漏水調査、管の破裂等修繕の迅速な対応	中央第1・第4配水池系地区全戸の音調調査		△	現在漏水調査個所の検討中。	武石上下水道課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-2	22	① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。	① 実績数値による。	◎	・4月以降自治会を通じ2回の調整会議を行い整備に向け準備中 自然石水路 L=50m W=1.0m	丸子産業観光課
2-2	38	天然素材利用農道・水路整備	環境に配慮した農道・水路の整備	農道、農業用水路において、環境に配慮した天然素材を利用する工法を推進します。	天然素材を利用した農道・水路を整備する。	農道・水路整備における天然素材を利用を5箇所以上採用する。	○	災害発生により若干の遅れが出ている。	真田産業観光課
2-2	60	① 多自然型水路整備	1 自然の保全・活用	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を一箇所整備する。	① 多自然型水路を一箇所整備する。		現在、要望ない為、事業予定なし	武石産業観光課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環境保全項目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-3	39	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成24年度 12ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 142.9ha →24年度目標 12ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-1	7	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月25日(日)	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	8月27日 第1回実行委員会開催 9月5日 役員会開催 9月21日 第2回実行委員会開催 11月24日(土)開催予定	丸子市民生活課
3-1	14	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 60件	○	補助金交付件数 14件(目標の23.3%) (エコオフィス改定作業に伴い8月末締め切りとなっていることの影響多少あり)	丸子市民生活課
3-1	15	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	補助金交付件数 1件(目標の100%)	丸子市民生活課
3-1	28	給食の調理	循環型社会の形成	①調理くずの削減、②残食量の削減、③汚泥発生の抑制	①調理くず発生量を減らす ②残食量を減らす ③適切な排水処理により汚泥発生を抑制する	①日常の取組 実施 ②残食量 3500kg ③汚泥発生量 0kg	◎	ごみ・食品残渣による前年度(8月末)との比較 ごみ・・・220kg減(調理員に日常から取り組むよう指示している) 食品残渣・・・46kg減(指導委員会等により各学校に呼びかけている)	丸子学校給食センター
3-1	50	ごみ減量、再資源化対策事業	廃棄物の減量と資源再利用の促進	廃棄物を減量及びリサイクルの推進	・生ごみ減量化機器等購入に対する補助金 ・資源物回収カレンダー全戸配布 ・河川への不法投棄防止啓発ビラの全戸配布		◎	・補助金交付件数 2件 ・カレンダー 12月配布予定 ・ビラの全戸配布は未実施	武石市民生活課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2	3	グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を88%以上とする	○	・平成24年度上半期グリーン購入の推進状況 (4月～8月のグリーン購入率:80.7%) ・平成23年度上半期グリーン購入の推進状況 (4月～9月のグリーン購入率:62.87%)	丸子地域振興課
3-2	4	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の12%減(333,282kwh)	◎	・エレベータ休日停止(H22より継続) ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知() ・平日夜間(21時～7時)エレベータ停止を実施(4月より) ・H24上半期電気使用料 150,945kwh (H23前期比 149,630kwh、1,315kwhz(0.9%増))	丸子地域振興課
3-2	5	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連27施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減(29,163kg)	◎	・H24上半期 14,770kg(9月分推定) ・可燃ごみの削減について、ゴミの分別を徹底(リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減)を通知 ・ISO推進委員によるゴミの分別チェックは未実施)	丸子地域振興課
3-2	6	集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	一昨年度実績の±0.0% ガソリン使用量3,150ℓ、軽油5,150ℓ	◎	・平成24年度上半期車両燃料使用量削減状況 (4月～8月) ガソリン1,713ℓ前年比△18.6%、 軽油2,494ℓ 前年比13.4増 ・平成23年度上半期車両燃料使用量削減状況 (4月～8月) ガソリン2,105ℓ、軽油2,198ℓ バス車両の運行増により軽油増(学校ほか)	丸子地域振興課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2	9	防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(460基/2,302基)	◎	本年度配分数 26自治会460基 実績報告済数 26自治会459基	丸子市民生活課
3-2	16	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	◎	補助金交付件数 63件(目標の52.5%)	丸子市民生活課
3-2	18	市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減(昨年度、住宅部門単独で設定した事業を、今年度から課全体に拡大)	・ガソリン(10台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期1,404ℓ 年度末2,699ℓ ・軽油車(2台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期979ℓ 年度末2,032ℓ	◎	ガソリン使用量 1,180.45ℓ(目標の84.1%) 軽油使用量 854.6ℓ(目標の87.3%) (エコオフィス改定作業に伴い8月末締め切りとなっていることの影響により目標値より少なめの数量になっている)	丸子市民生活課
3-2	21	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体へ説明会の開催 団体会員への「工振ニュース」で取得支援の情報を年2回提供する。併せてエコアクション21についても情報提供する。	参加者1回で30社40人	◎	7月:経営・技術セミナーにおいて中小企業支援策で取得支援説明会を開催	丸子産業観光課
3-2	27	給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/農環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地元食材の利用、②食品残渣の再生利用、③廃食油の再生利用、④バイオディーゼル燃料(BDF)の使用	①地元食材の利用を促進する ②食品残渣のたい肥化等再生利用を図る ③廃食油のBDF化を促進する ④配送車燃料にBDF使用を促進する	①地元食材使用割合 45% ②再生利用の取組 実施 ③廃食油BDF化率 100% ④BDF使用量 230ℓ	◎	地元食材については多少価格が高価でも使用している。BDF(廃油)の再利用については毎月業者に出し、8月現在で2160ℓ出している。BDFの使用量は、8月末現在126ℓ(6月～8月)である。	丸子学校給食センター
3-2	29	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	・住民環境啓発		◎	※丸子文化会館セレスホールや小ホールで行った自主事業、社会教育事業の際に ①開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載した。 ②館内に啓発文書を掲示し周知した。 ③開催時、口頭で周知した。	丸子社会教育課
3-2	32	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます	庁舎の電力消費量削減	平成19年度比6.0減(年1.2%×5年) 目標値429,137kwh	◎	19年度上半期(4月～8月) 156,887kwh 24年度上半期(4月～8月) 111,576kwh 19年度比28.9%減 ①40W型蛍光灯をHf32W蛍光灯へ順次交換 実績:15本 ②空調設備用の冷温水を作る設備(チラー)の稼働開始日を遅らせた。(例年6月25日⇒H24年7月5日) ③チラーの運転は自動運転で制御しているが、現在の制御機器は古く運転ロスが大きいため、手動運転に切替え、省エネ運転となるよう心がけた。 ④電気温水器の稼働時間の短縮 例年7時30分～17時15分 ⇒ H24年 7時30分～11時	真田地域振興課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2	33	共有管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	共有管理車10台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成19年度比6.0減(年1.2%×5年) 目標値ガソリン・軽油計で6,707ℓ以下	◎	長距離時のハイブリット車使用を優先し、エコドライブの呼びかけに努めた。 19年度ガソリン 768ℓ、軽油 2,258ℓ、計3,026ℓ 23年度ガソリン1,133ℓ、軽油 1,880ℓ、計3,012ℓ 24年度ガソリン1,013ℓ、軽油 2,053ℓ、計3,066ℓ 前年度比ガソリン△10.6%、軽油9.2%増。19年度比計1%増。 前年度比増減の理由として、ガソリンは、乗り合わせへの声かけと実行、頻繁に使う係への車両対応(プリウス)により減少。軽油は、渋沢地区通学送迎車代替運行への対応と、中型バスの東京送迎等長距離の運行の増のため。	真田地域振興課
3-2	47	消費電力の削減	地球温暖化防止の為に温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.2%減	◎	H24.8月末実績 27,228Kwh 前年同期実績は 29,140Kwhで、6.6%の削減ができた。	武石地域振興課
3-2	49	市営・特目住宅の管理	環境負荷の低減(口座振替、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 90.0%以上	◎	口座振替率 92%(新規入居者の口座振替率 100%)	武石市民生活課
3-2	55	太陽光発電・太陽熱利用施設設置補助	エネルギーの有効利用	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 10件	◎	新エネルギー活用施設設置費補助金交付件数 8件	武石市民生活課
3-2	56	雨水貯留施設の普及啓発事務	水資源の保全	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める	雨水貯留施設に対する補助の実施		○	補助申請数 0件	武石市民生活課
3-2	57	エコオフィスうえだ	コピー用紙使用の削減等による環境配慮	「エコオフィスうえだ」に基づき、コピー用紙使用の削減を図る。		平成23年度に対し5%削減	◎	・個々で削減に努めている。	武石市民生活課
3-2	58	エコオフィスうえだ	可燃ごみの抑制による環境への配慮	「エコオフィスうえだ」に基づき、資源化率の向上を図る。		平成23年度に対し5%削減	◎	・個々で可燃ごみの抑制に努めている。	武石市民生活課
3-2	59		ごみ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ごみ、コピー用紙、光熱水量の削減		24年度 コピー枚数 22200枚 電気使用量 27900kwh 水道使用量 500㎡ 灯油使用量 21100ℓ	◎	24年度 コピー枚数 13400枚 電気使用量 10451kwh 水道使用量 255㎡ 灯油使用量 0ℓ	武石健康福祉課
3-2	65	事務事業全般	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		24年度 コピー枚数 9315枚 電気使用量 29000kwh 水道使用量 495㎡ 灯油使用量 3309ℓ	◎	8月末現在 コピー枚数 3,378枚 電気使用量 10,450kwh 水道使用量 256㎡ 灯油使用量 282ℓ	武石診療所
3-2	66		省エネに努めるエコ対策	就労センター職員及び通所者の環境に対する意識を高める。	施設内の環境整備に努め、節電・節水・燃料の削減に努める。	ガソリン 月平均300ℓ 軽油 月平均200ℓ 灯油 月平均400ℓ 電気 月平均2100kw	◎	8月末現在 ガソリン トータル1,638ℓ 月平均327ℓ 軽油 トータル1190ℓ 月平均238ℓ 灯油 トータル434ℓ 月平均87ℓ 電気 トータル9147kw 月平均1829kw	社会就労センター-武石事業所

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-3	17	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	○	補助金交付件数 4件(目標の33.3%) (エコオフィス改定作業に伴い8月末の数値となっていることの影響多少あり)	丸子市民生活課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまちなち							
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
4-2	23	花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1住民参加のための施策検討 2住民参加による緑化 3住民環境啓発	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑧講習会への参加	◎	4月 参加団体へ配布する花苗の調整 丸子地域花いっぱい運動参加団体:73団体 会員数:3,424名 6月6・7・8日 参加団体への花苗の配布 花苗種類9(色別等種類 17) 6月 (1)参加団体から花と緑のまちづくりデザイン事業実績報告書の提出 7月 (2)「上田市花と緑のまちづくりコンクール」の参加呼びかけ 丸子地域花いっぱい運動団体からの応募あり 団体部門(50㎡未満)11団体、団体部門(50㎡以上)7団体 個人部門1名 学校部門 1校 合計20 23年度実績(17)	丸子建設課
4-2	24	住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 210人	◎	4月 丸子ベルパーク花壇の花植配置作業と本数確認 4区画の花苗配置作成 6月29日 「まるこ花と緑の会」視察研修 国営アルプスあづみの公園、HAMAフラワーパーク安曇野他 (参加者 20名) 6月12日 丸子ベルパーク花壇への花苗植栽(参加者 19名) サルビア 赤(400本)、白(100本)、百日草 赤(200本)、メランポジウム(180本)、ペチュニア(27本)、マリーゴールド 橙(100本)黄(300本)、ペゴニア 赤(100本)、白(100本)、日々草 白(100本)ピンク(100本) 合計 1,707本 6月～9月 丸子ベルパーク花壇管理 6月…5回 7月…8回 8月…9回 9月…9回 合計 31回	丸子建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
4-3	8	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 10件以下	○	犬猫の正しい飼育方法について4月、9月及び「動物の正しい飼い方普及月間」に合わせ6月に隣組回覧を自治会長に依頼した。 また、苦情対応の際に犬猫の飼育者に回覧文書を手渡して指導した。 苦情件数 6件(訪問指導、看板設置等)	丸子市民生活課
4-3	11	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 9,200kg (H23の20%削減)	○	パトロール回数 4班 月3回 延べ60回 不法投棄のごみの量 4,900kg (目標の53.3%) (エコオフィス改定作業に伴い8月末締め切りとなっていることによりパトロール回数は予定の72回より少ない)	丸子市民生活課
4-3	12	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 5/27(日) 丸子地域は自治会ごとに随時実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 5,000人	◎	参加人数 4,257人(達成率85.1%)	丸子市民生活課
4-3	13	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	◎	(前期)6月4日 実施 参加6団体 (後期)11月1日 実施予定	丸子市民生活課
4-3	36	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	◎	各自治会においては、河川愛護団体等の活躍で、駆除が進んでいる。それ以外の河川敷等については、昨年度までに比べ、市民生活課の予算が少なくなった影響により、市で行う面積は減少する。	真田市民生活課
4-3	41	道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=300m(今年度の事業であるが菅平での施工となる為、歩道完成は来年度となる。) 繰越事業 歩道新設 L=370m 11月完成予定	・工事の完了実績による。(今年度については、工事発注であり歩道完成は来年度となる為、数値での評価が出来ない)	◎	・繰越事業の歩道新設L=370mは11月完成を目標に予定通り進めており、約80%完了している。	真田建設課
4-3	53	犬猫の糞尿害対策	うるおいやゆとりのある都市空間の形成	犬猫の糞尿害等に対する対策を推進する	犬猫の正しい飼育方法の周知 オフトーク放送による周知(随時)		○	・4月チラシ、5月回覧未実施 ・犬の糞の苦情 1件(オフトーク放送実施)	武石市民生活課
4-3	54	ポイ捨て条例に基づく美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て条例に基づき美化活動を推進する	環境美化監視員によるパトロール月2回 不法投棄防止チラシ等の配布		◎	・環境美化監視員によるパトロール毎月2回実施 ・6月チラシ配布未実施	武石市民生活課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-1	20	隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄せ植えの実施 ③エコ料理教室の開催…省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 90回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	◎	①隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか全40回開催(目標の44.4%) ・解放センターだより「彩り」に《チャレンジ25》のロゴ掲載(5回発行) ②6/8(金)実施 参加者21人。 ③8/22(水)実施 参加者13人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと。2.見た目もおいしそうなこと。3.その上にエコをプラスする。4.ガスや電気のエネルギーを大切に使う。5.ゴミをできるだけ少なく。6.水をむだなく使う。を学び実施できた。	丸子市民生活課
5-1	30	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・10月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。		◎	6月の環境月間にあわせ、6月5日(環境の日)から6月30日まで生活環境課から取り寄せたポスターを掲示し、環境関連の本の特設コーナーを設置した。	丸子図書館
5-1	34	自治センターだより	環境にやさしい人、地域を育む	住民の環境に関する意識の啓発を図る。	真田地域自治センターだよりを活用した環境啓発活動	啓発記事数 6件	◎	環境啓発活動として真田地域自治センターだよりを活用した啓発記事数 3件(5月、7月、9月)	真田地域振興課
5-1	35	有線放送	環境にやさしい人、地域を育む	住民の環境に関する意識の啓発を図る。	有線放送を有効利用して環境啓発活動	環境(省エネ等)に関する放送。2回	◎	7月11、12日に省エネアドバイザーによる「節電生活のすすめ」と題し、夏に向けての省エネ対策について放送を行った。	真田地域振興課
5-1	40	ごみ減量化事業	イベント開催時及び公園等利用時に発生するごみの減量	イベント参加者等と協力してごみの減量を図り、また公園等利用者への環境啓発活動を行います。	イベント時及び菅平高原スポーツランド、公園等へ環境啓発看板等の設置	イベント終了時のごみの残量	◎	昨年までの課題であった真田まつり終了後のごみの計量を行った。	真田産業観光課
5-1	44	各種講座	地域における環境保全活動の推進	各種主催イベントの際に車相乗り参加の呼びかけ	公民館学級開催、各種大会開催の際の保全活動	各種主催イベントにおける、参加者募集時にチラシ、有線放送を利用し、参加の際の車相乗りの呼びかけ	◎	真田地域体育祭開催時、厚生部長会議において車相乗り参加の呼びかけ及びプログラムに掲載。	真田地域教育事務所
5-1	45	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間にあわせ1階、2階コミュニティスペースに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。 ・12月の図書館祭りでは、本のリサイクル市を行い、本の有効利用を図る。		◎	「環境月間」、「雨の季節をさわやかに」をテーマに1ヶ月間、環境関係のテーマ展示をした。	真田図書館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-2	2	わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体	◎	・平成24年度 8団体が実施 ・事業内容を確認するとともに、事業実施の際には、報道への周知等の支援・協力を実施した。	丸子地域振興課
5-2	46	武石地域全域公園化構想の実践と実現に向けた取り組みの実施	環境の保全	自然環境と一体となった地域性豊かな環境整備	①公園化構想実践事業とわがまち魅力アップ応援事業を活用した地域環境整備の推進	①公園化構想実践事業の進捗 ②わがまち魅力アップ応援事業の進捗	◎	H24新規2団体含め、10団体順調に事業を展開中。 11月上旬に写真パネルで取組状況を中間報告の予定。	武石地域振興課
5-2	64	青少年健全育成事業	自然体験学習を通じて子どもの環境保護の感性を育む	自然に親しむ事業を実施する。	青少年の育成事業	事業の実施回数と参加者数	○	・5月 参加者少なく中止 ・7月 夏休み自然ふれあい体験 参加者100名	武石地域教育事務所

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境活動を発信する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-3	1	丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)	◎	・丸子地域自治センターだよりの第27、28、29号に上田市環境基本計画市民行動指針を掲載し、市民への啓発活動を実施した。	丸子地域振興課

独自目標									
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
独	37	特定健診・特定保健指導受診率の向上	安全で健康に暮らせるまちづくり	特定健診・特定保健指導の受診率を増加させ、住民の健康維持を図ることで、産業廃棄物等(医療廃棄物)の削減につなげる。	1 特定健診受診率と保健指導実施率の向上	1 特定健診受診率 65% 2 特定保健指導実施率 48%	○	(8月31日現在) 特定健診対象者 40人 特定健診受診者 13人(受診率 32.5%) 特定保健指導対象者 2人 指導利用者 1人(利用率 50.0%) 未受診者への受診勧奨のはがきを9月実施予定	真田健康福祉課
独	61	道路整備事業	観光アクセス道路の環境改善	市道小沢根線の整備促進	・合併特例債事業 舗装改良・災害防除 L=400mの早期発注 ・落石箇所の災害防除工法検討	・施工実績による	○	計画段階における、沿線の自然環境、特に立木の伐採に配慮した。	武石建設課